「お客さまの資産形成支援に向けた業務運営方針」に基づく取組状況（2025年度）

2026年9月

青森みちのく銀行では、「お客さまの資産形成支援に向けた業務運営方針」に基づく活動を評価・検証するための取組状況を定期的に作成し公表しております。

今般、2025年度の取組状況および成果指標（ＫＰＩ）の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

当行では今後も取組状況を定期的に検証し、商品・サービスの向上に向けた取組みを実施してまいります。

目次

1．　お客さまの最善の利益の追求

2．　利益相反の適切な管理

3．　手数料の明確化

4．　重要な情報のわかりやすいご提供

5．　お客さまにふさわしいサービスのご提供

6．　役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

※金融庁より2021年1月に公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」（「原則」）および、これらに付された（「注」）との対応関係については、次ページ以降の各方針、および対応関係表でご確認いただけます。

[共通KPI]

- （投資信託）投資信託損益別顧客比率（Ｐ4）
- （投資信託）投資信託預かり販売上位20銘柄コスト・リターン（Ｐ20）
- （投資信託）投資信託預かり残高上位20銘柄リスク・リターン（Ｐ21）
- （外貨建保険）外貨建保険運用評価別顧客比率（Ｐ5）
- （外貨建保険）外貨建保険銘柄別コスト・リターン（Ｐ23）

～共通KPIとは～

お客さまが良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者を選ぶ上で比較することができる統一的な指標です。

1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」）

Procrea 青森みちのく銀行

業務運営方針

（１）「お客さまの最善の利益」の追求に向け、役職員が資産形成支援に必要な知識の取得・スキルの向上に継続的に取り組み、お客さまのニーズに応じた良質な商品・サービスの提供等、お客さまの保有する金融資産の価値向上に資する誠実・公正な業務運営を実践してまいります。

（２）「お客さま本位の業務運営」が当行の企業文化として定着するよう努めてまいります。

具体的な取組み

① お客さまに最適な金融商品やサービスを提案し、お客さまの期待にお応えするために必要となる知識・スキルを高めるため、従業員への研修や勉強会、公的資格（FP技能士等）の取得支援や行内資格制度の充実等に努めてまいります。

② お客さまの資産状況、投資経験、知識および取引目的・ニーズ等をお伺いしたうえで、お客さまの最善の利益の実現につながる金融商品・サービスを提供するため、ライフプランに寄り添った資産管理のアプローチ等によるコンサルティング提案に努めてまいります。

③ お客さまの資産形成を支援する取り組みとして、リスク低減効果の期待できる「長期・積立・分散投資」による運用手法、および保有する資産を“守りと攻め”の部分に分けて運用する「コア・サテライト戦略」による資産分散を提案いたします。

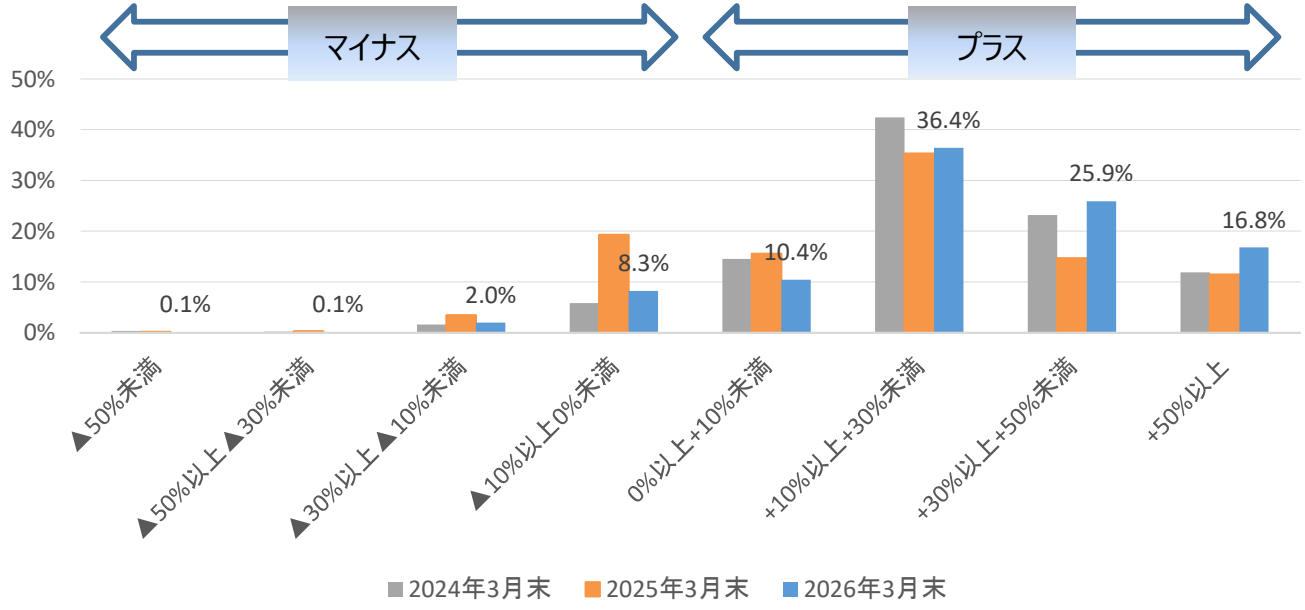
④ お客さまの属性にそぐわない特定の金融商品等を、合理的な理由なく優先的に販売・推奨することがないよう運用してまいります。また、お客さまに最適な提案や販売が行われているかについて、本部によるモニタリング等の適切な管理を実施いたします。

1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さまの最善の利益の達成度を示す具体的な指標①

■投資信託運用損益別お客さま比率 【共通ＫＰＩ】



運用損益率	マイナス	プラス
2024年3月末	8.0%	92.0%
2025年3月末	23.1%	76.9%
2026年3月末	10.4%	89.6%

※2026年3月末（基準日）までの「トータルリターン」を基準日時点の評価基準で除して損益率を算出。

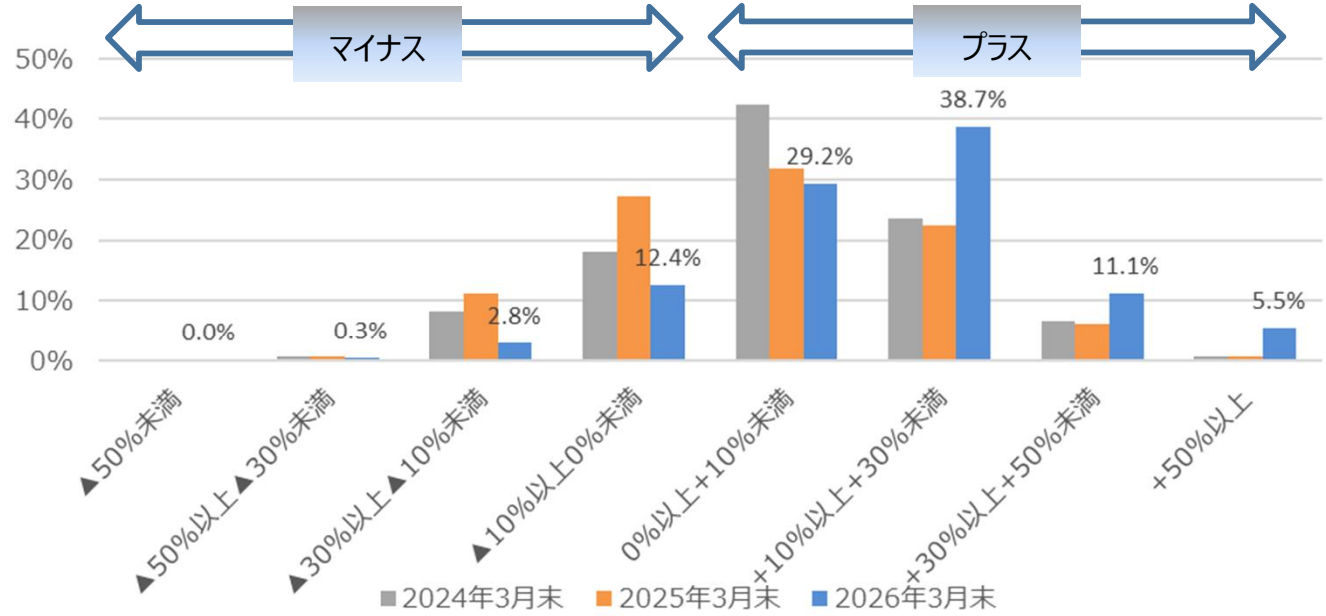
損益区分	▲50%未満	▲50%以上▲30%未満	▲30%以上▲10%未満	▲10%以上0%未満	0%以上+10%未満	+10%以上+30%未満	+30%以上+50%未満	+50%以上
2024年3月末	0.3%	0.2%	1.6%	5.9%	14.5%	42.4%	23.2%	11.9%
2025年3月末	0.1%	0.3%	3.4%	19.2%	15.5%	35.3%	14.7%	11.5%
2026年3月末	0.1%	0.1%	2.0%	8.3%	10.4%	36.4%	25.9%	16.8%

1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さまの最善の利益の達成度を示す具体的な指標②

■外貨建保険運用評価別お客さま比率【共通ＫＰＩ】



運用損益率	マイナス	プラス
2024年3月末	27.0%	73.0%
2025年3月末	39.1%	60.9%
2026年3月末	15.5%	84.5%

※ 2026年3月末（基準日）までの「トータルリターン」を基準日時点の評価基準で除して算出した損益率の指標です。

損益区分	▲50%未満	▲50%以上▲30%未満	▲30%以上▲10%未満	▲10%以上0%未満	0%以上+10%未満	+10%以上+30%未満	+30%以上+50%未満	+50%以上
2024年3月末	0.0%	0.5%	8.3%	18.2%	42.4%	23.5%	6.5%	0.6%
2025年3月末	0.1%	0.5%	11.2%	27.3%	31.7%	22.4%	6.2%	0.6%
2026年3月末	0.0%	0.3%	2.8%	12.4%	29.2%	38.7%	11.1%	5.5%

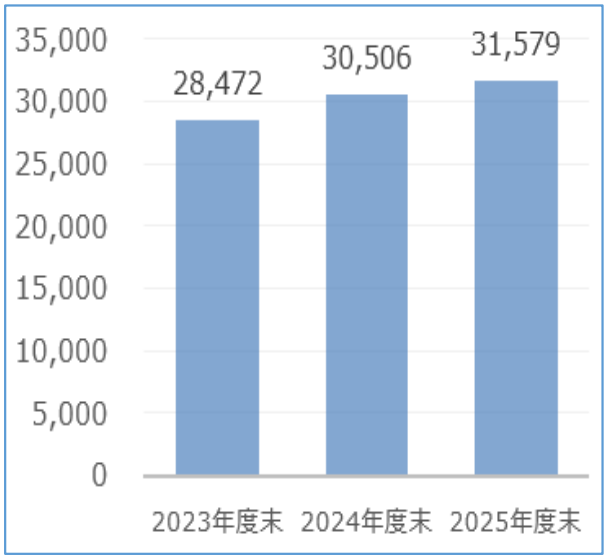
- 外貨建保険は、保障と運用を兼ねており、満期や死亡の際には保険金が支払われますが、保険商品は長期保有を前提としており、特に、契約後の早い段階に解約した場合に受け取る解約返戻金は、一定額の解約控除等により、一時払い保険料を下回る場合が多くあります。
- 解約返戻金は基準日時点の為替レートで円換算しており、満期まで保有した場合や、外貨で受け取る場合の評価とは異なります。

1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」）

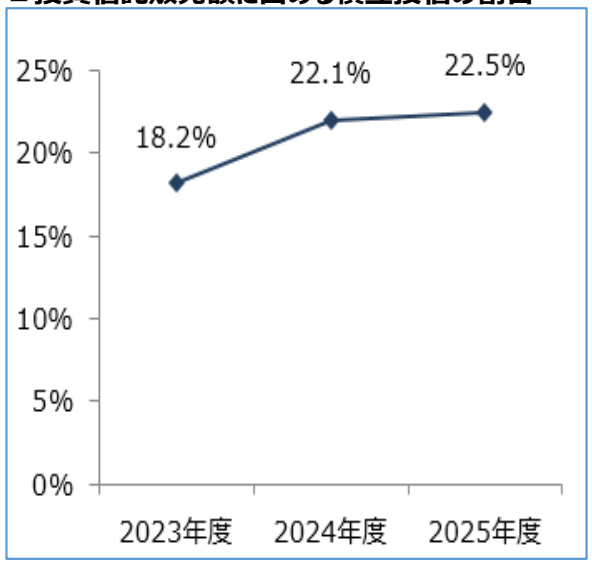
Procrea 青森みちのく銀行

長期・積立・分散投資の推進①

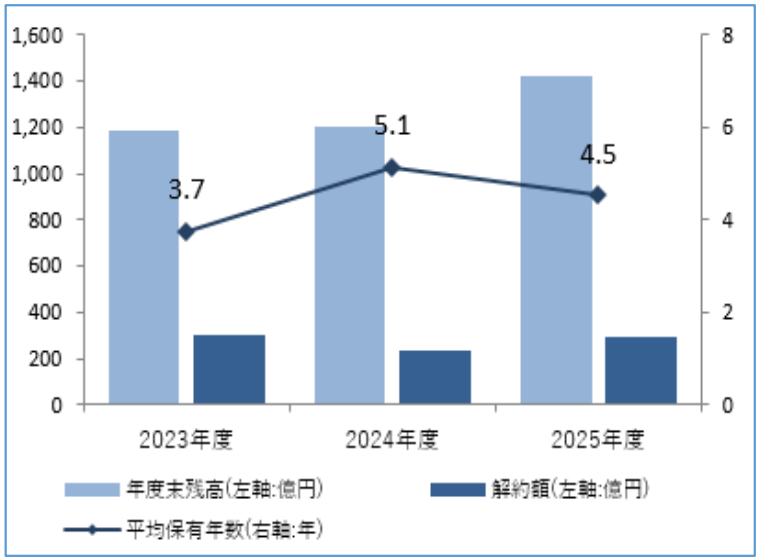
■積立投信ご利用先数（人）



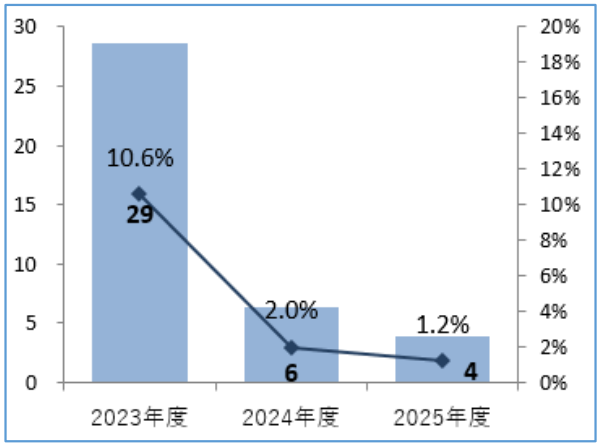
■投資信託販売額に占める積立投信の割合



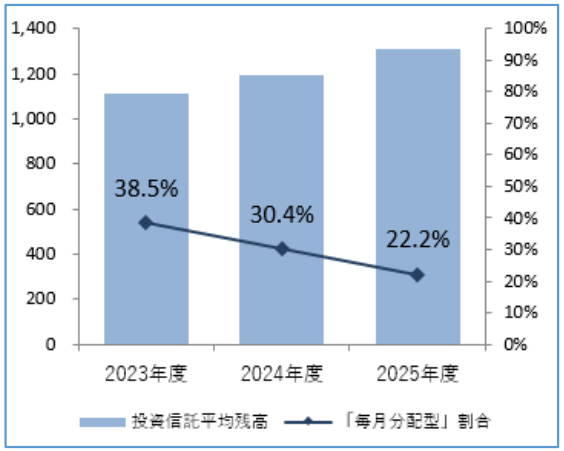
■投資信託の平均保有年数



■「毎月分配型」投資信託の販売額（億円）割合



■「毎月分配型」投資信託の残高（億円）割合



■「NISA」口座数および残高（2025年度末）

口座数	残高
57,110口座 （うち利用先は42,768口座）	61,115百万円

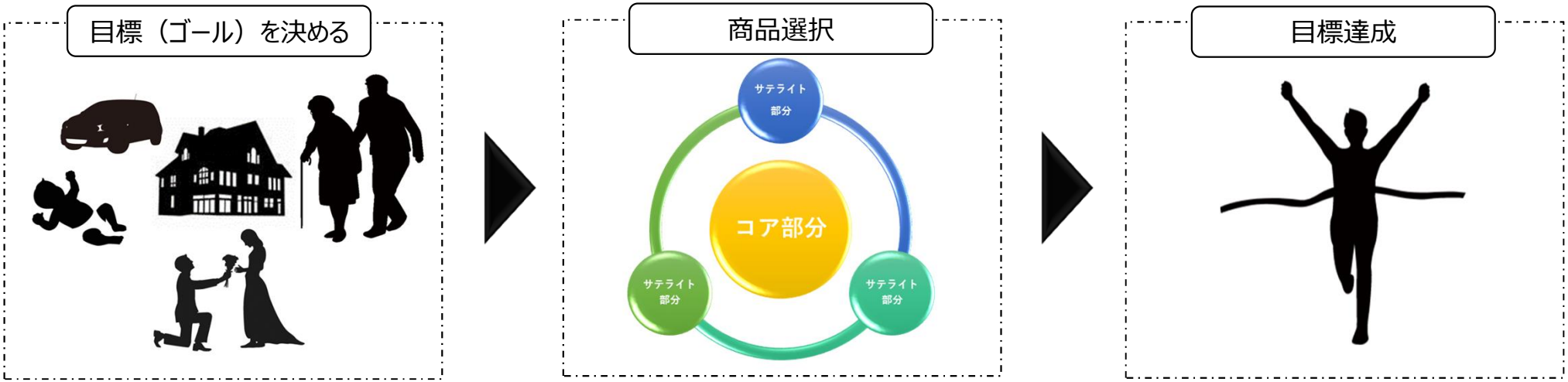
1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」）

Procrea 青森みちのく銀行

長期・積立・分散投資の推進②

お客さまの資産形成を支援する取り組みとして、お客さまの目標（ゴール）に合わせて適切なリスク・リターンを検討する「ゴールベースアプローチ提案」から、リスク低減効果の期待できる「コア・サテライト運用」による運用手法等をご紹介する提案活動を行っております。

■提案手法イメージ



■ゴールベースアプローチ提案

運用方針	お客さまの目標に合わせて商品を選択
リスク許容度	お客さまの意向・状況と達成したい目標によって変化
投資期間	中長期的視点（目的ごとに異なる）
目指す運用	「目標」の点検をする （目標とポートフォリオに乖離がないか）
コア・サテライトに対する認識	コア：長期的な目標達成に向けた中心的役割 サテライト：長期的な目標に向けた補助的役割

■コア・サテライト運用（「守り」の資産と「攻め」の資産）

コア・サテライト区別	リスク	投資の考え方（投資目的）		投資対象
		お客さまのニーズ	リスク許容度	
——	——	元本割れは避けたい	——	定期預金等 (投資信託での運用は向いていません)
コア運用向き（守り）	小	リスクは小さく安定性を重視したい 安定性重視	リスク 小／リターン 小 ※多少の元本割れリスクも許容	国内債券
サテライト運用向き（攻め）	中	リスクがあっても収益性や値上がり益を重視したい 収益性重視	リスク 中／リターン 中 ※相応の元本割れのリスクも許容	海外債券（為替ヘッジあり） 内外債券　バランス 海外債券（為替ヘッジなし）
	大（経験者向き）	リスクが大きくても値上がり益を重視したい 積極性重視	リスク 大／リターン 大 ※元本割れとなるリスクが大きくても許容	国内株式　海外株式 内外株式　国内リート 海外リート　内外リート

1. お客さまの最善の利益の追求（「原則2」「(注)」、「原則6」「(注5)」）

行内研修等の実施状況

金融商品の取扱担当者に対しては、行内研修や勉強会、臨店指導・モニタリング等の実施による知識・スキルの向上に取り組んでおります。

■行内研修等の実施状況

区分	実施状況
集合研修	事業承継、コンプライアンス、マーケット、コンサルティング
オンラインセミナー・ＷＥＢ研修	91回（延べ）

■2025年度行内研修の一例

法人コンサルティング研修

法・個一体営業強化のため、法人オーナーに対する営業場面で実践・活用できるスキルを身につけます。

個人コンサルティング研修

個人コンサルティングに必要な現場対応力・コミュニケーションスキルの構築を目的に実施しております。

預かり資産担当役席研修

預かり資産担当役席を対象に、「顧客本位の業務運営」の理解・浸透、コンプライアンスの徹底等を主旨として実施しております。

新商品勉強会

投資信託や保険等の新商品導入の際に、商品基礎知識・想定顧客層等を学び、お客さまのご意向に沿った提案ができる顧客説明体制を整備しております。

■本部モニタリング実施概要

対象者

- ○ 高齢者：満70 歳以上80 歳未満のお客さま
- ○ 特定高齢者：満80 歳以上のお客さま
- ○ その他顧客

対象取引

- ○ 株式投資信託
- ○ 保険窓販

本部によるモニタリング（具体的なチェック項目）

- 適合性や合理性の観点から不適切な取引はないか。
- 過去の実績と比較し、頻度、金額、商品等に問題とみられるような取引をしていないか。
- 合理性のある取引か。
- 短期間に頻繁に売買をしていないか。
- 顧客自身の意向、判断にもとづいた取引となっているか。
- リスクの高い商品となっていないか。

など

２．利益相反の適切な管理（「原則３」「(注)」）

業務運営方針

お客さまのお取引における利益相反の可能性を適切に把握し、管理する体制を整備いたします。

具体的な取組み

①　金融商品等のご契約に際して当行が受け取る販売手数料や代理店手数料等について、説明を適切に行ってまいります。

②　当行が定める「利益相反管理方針」に基づき、お客さまの利益が不当に損なわれることのないよう適切に対応してまいります。

※なお、当行グループでは公表日時点におきまして、利益相反の可能性を判断するにあたって注意を要する、「商品提供会社」を有しておりません。

※ 利益相反に関する対応方針は、当行ホームページをご参照ください。
https://www.am-bk.co.jp/guide/aboutus/riekisouhan/

２．利益相反の適切な管理（「原則３」「(注)」）

当行は、利益相反の弊害を防止する観点から、販売状況を検証することにより適切に管理しております。

■当行と資本関係のある投信会社、保険会社はございません。また、当行のグループ会社に販売商品を供給する会社や販売商品を運用する部門はございません。

■当行では手数料の多寡に係わらず、お客さまのニーズにあった商品を幅広くご提案しています。

投資信託販売上位５ファンド

	ファンド名	主な投資対象	販売手数料
1	次世代米国代表株ﾌｧﾝﾄﾞ	海外株式	3.30%
2	iFree日経２２５ｲﾝﾃﾞｯｸｽ	国内株式	0.00%
3	あおぞら･新ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ分散ﾌｧﾝﾄﾞ（限定追加型）2026-01	バランス	2.20%
4	つみたて米国株式(S&P500)	海外株式	0.00%
5	三菱ＵＦＪ　純金ﾌｧﾝﾄﾞ	国内その他	1.10%

生命保険販売上位の５商品

	商品名	カテゴリー	代理店手数料（※）	
			初年度	契約継続（累計）
1	プレミアカレンシー３（円建）	一時払型円建年金	0.7～1.5%	0.0%
2	プレミアパートナー（円建）	一時払型円建年金	1.0～2.0%	0.0%
3	プレミアカレンシー３（米ドル建）	一時払型外貨建年金	1.75～2.70%	0.20～1.80%
4	プレミアプレゼント5（円建）	一時払型円建終身	0.5～3.0%	0.00～0.90%
5	プレミアプレゼント5（外貨建）	一時払型外貨建終身	1.20～3.40%	0.60～1.80%

※ 代理店手数料は募集および契約の維持・管理に対する対価として、基本保険金額に上記手数料率を乗じた額を引受保険会社から受け取ります。尚、適用となる手数料率は、募集時の契約条件（利率・契約時年齢等）で異なります。

３．手数料等の明確化（「原則４」）

Procrea
青森みちのく銀行

業務運営方針

お客さまにご負担いただく手数料およびその他の費用などの重要な情報について、適切にわかりやすく説明してまいります。

具体的な取組み

① 手数料その他の費用の詳細につきましては、タブレット端末を用いた説明の他、商品パンフレットや、各商品の設計書、契約締結前交付書面（目論見書等）等により適切にわかりやすく説明してまいります。

② 同一あるいは類似した商品について、手数料その他の費用の詳細および手数料率等が異なる場合は、お客さまが各金融商品を比較検討できるよう、重要情報シートや商品パンフレット・契約締結前交付書面等を用い、適切にわかりやすく説明してまいります。

③ 手数料その他の費用は、事務関連費用や人件費等の費用を総合的に勘案し設定しております。

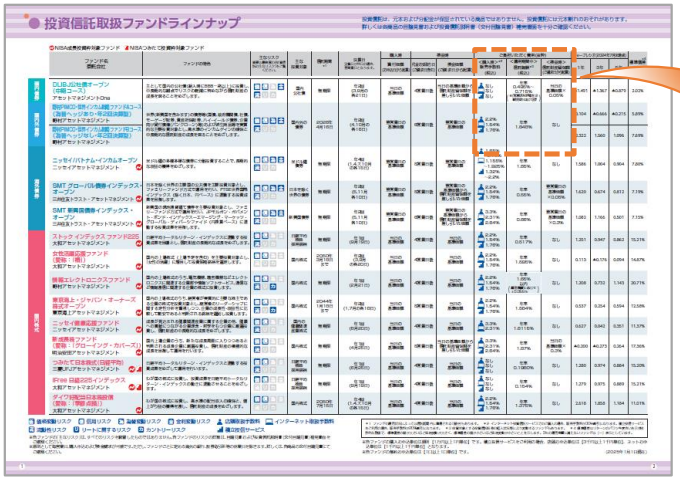
3．手数料等の明確化（「原則４」）

Procrea 青森みちのく銀行

手数料の明確化①

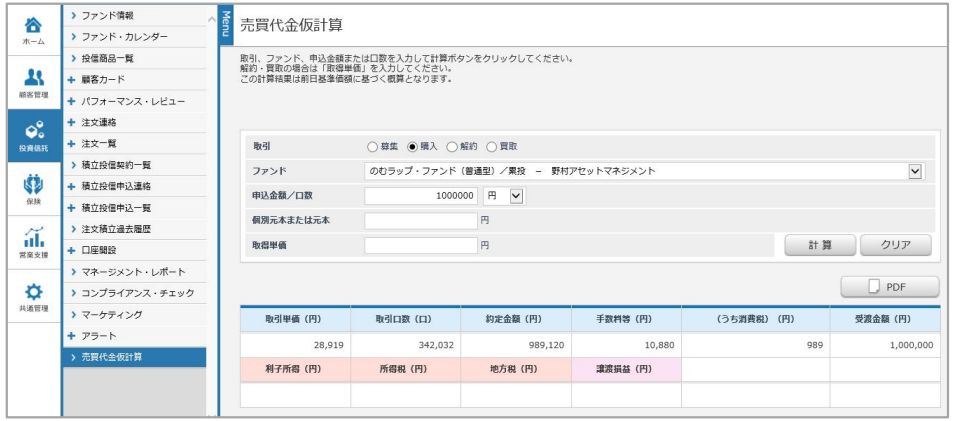
お客さまにご負担いただく手数料およびその他の費用などの重要情報について、各種ツールを活用し、適切にわかりやすく説明します。

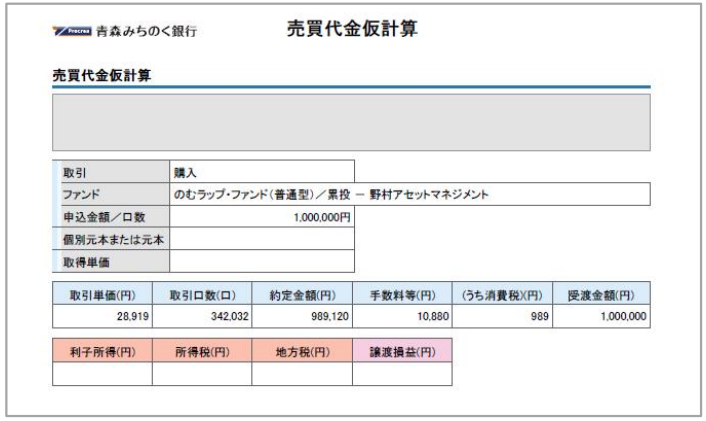
■投資信託ラインナップ（冊子）



ご負担いただく費用（抜粋）		
＜購入時＞*2 販売手数料（税込）	＜運用期間中＞ 信託報酬*3（税込）	＜換金時＞ 信託財産留保額（ご請求日から起算）
なし なし なし	年率 0.495%～0.715%（※「NOMURA-BPI総合」の単利利回りに応じて決定）	当日の基準価額×0.05%
2.2% 1.54% 1.76%	年率 1.848%	なし

■投資信託売買代金仮計算（システム）





３．手数料等の明確化（「原則４」）

青森みちのく銀行

手数料の明確化②

■保険

保険のご提案にあたっては、保険商品ごとに定められたパンフレット（商品概要説明書）を用いて、契約の維持・継続にかかる費用やその他発生する費用等について詳しく説明しています。

費用について（この保険に係る費用は、以下の費用の合計になります）

■ご契約時に契約時費用として一時払保険料から、基本保険金額につぎの率を乗じた金額を控除します。
【外貨】<5年>3.5%、<10年>4.1%　【円】<5年>1.0%、<10年・15年>1.7%、<20年>2.2%

■積立利率保証期間中
「満期重視プラン」の場合、積立金額が死亡給付金額を下回っている間は、積立金から死亡給付金を支払うための費用を控除します。
＊上記の費用は、契約年齢、性別、経過期間などによって異なるため、具体的な数値や計算方法は表示しておりません。
また、積立利率の計算にあたって、保険契約関係費率をあらかじめ差し引いております（プラン・指定通貨により、差し引く率は異なります）。

■年金受取期間中
保険契約関係費（年金管理費）…受取年金額に対して1.0%（円貨で年金を受け取る場合は最大0.35%）※
＊保険契約関係費（年金管理費）は2025年4月現在の数値であり、将来変更されることがあります。ただし、年金支払開始日以後は、年金受取開始時点の数値が年金受取期間を通じて適用されます。なお、「死亡給付金等の年金払特約」および「年金支払移行特約」を付加した場合の特約年金についても同様の取扱いとなります。
※10年保証期間付終身年金の保証期間経過後の受取年金額および死亡時保証金額付終身年金の受取年金額（死亡時保証金額を含みます）に対しては1.4%（円貨の場合は最大1.0%）となります。

■終身保険への移行後
「目標値到達時定額円貨建終身保険移行特約」（　）、または「定額終身保険移行特約（移行後通貨指定型）」を付加して終身保険に移行する場合、移行後基本保険金額は、保険契約の維持などに必要な費用および死亡給付金を支払うための費用を控除する前提で算出されます。
＊上記の費用は、移行日の年齢、性別、経過期間などによって異なるため、これらの具体的な数値や計算方法は表示しておりません。

■通貨を換算する場合の費用
以下の特約の為替レートには、為替手数料が反映されており、当該手数料はお客さまの負担となります。

保険料円貨入金特約	TTM＋50銭	保険料外貨入金特約	（払込通貨のTTM－25銭）÷（指定通貨のTTM＋25銭）
円貨支払特約、目標値到達時定額円貨建終身保険移行特約			TTM－50銭
定額終身保険移行特約（移行後通貨指定型）		指定通貨を別の外貨に変更	（移行前の指定通貨のTTM－25銭）÷（移行後の指定通貨のTTM＋25銭）
		指定通貨を円に変更	TTM－50銭
積立利率保証期間の更新時に指定通貨を変更する場合		指定通貨を別の外貨に変更	（変更前の指定通貨のTTM－25銭）÷（変更後の指定通貨のTTM＋25銭）
		指定通貨を円に変更	TTM－50銭

＊上記の為替レートは、2025年4月現在の数値であり、将来変更することがあります。＊TTMは、第一フロンティア生命所定の金融機関が公表する値となります。

■この他に外貨のお取扱いに必要となる費用を負担していただくことがあります。

この保険商品のご検討に際しては、必ず外貨建保険販売資格を持つ生命保険募集人にご相談ください。

ご検討、お申込みに際しては、「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼 商品パンフレット」「ご契約のしおり・約款」などをお読みください。

お客さまにご負担いただく費用は以下のとおりです。

● **契約時にかかる費用**(＊1)(＊2)
<3つの健康告知プラン>では、一時払保険料に4.5%を乗じた金額を上限として、契約の締結に必要な費用を一時払保険料から差し引きます。
(＊1) この費用は、予定利率、被保険者の年齢によって異なりますので表示しておりません。
(＊2) <健康告知なしプラン>には契約時にかかる費用はありません。

● **保険期間中にかかる費用**(＊3)
・契約の締結・維持に必要な費用、死亡保障等に必要な費用を保険料積立金から毎月差し引いています。

初期死亡時円換算支払額最低保証特約を付加する場合(＊4)	第1保険期間中は、上記費用に加えて、最低保証に必要な費用を保険料積立金から毎月差し引いています（別途お払い込みいただくものではありません）。そのため、初期死亡時円換算支払額最低保証特約を付加しない場合に比べて、基本保険金額・解約返戻金額等は小さくなります。
重度介護前払保険金を請求する場合	所定の期間に応じた利息を特約基準保険金額（請求額）から差し引きます。

(＊3) これらの費用は、予定利率、被保険者の年齢等によって異なりますので表示しておりません。
(＊4) <3つの健康告知プラン>の場合、本特約は付加できません。
・<健康告知なしプラン>では、ご契約当初10年間は、解約返戻金額を計算する際、一時払保険料相当額に契約日からの経過年数に応じた所定の控除率(経過年数に応じて5.0%～0.5%)を乗じた金額を差し引きます(解約控除)。<3つの健康告知プラン>には解約控除はありません。

● **通貨を換算する場合にかかる費用**
以下の取扱いにおいて適用する住友生命所定の為替レートには為替手数料（下表のTTMとの差額）が反映されており、当該手数料はお客さまのご負担となります。

取扱い	住友生命所定の為替レート(＊5)
死亡保険金・解約返戻金等を円貨で受け取る場合(＊6)	TTM(＊7)－50銭
円建終身保険へ変更する場合	
一時払保険料を円貨で払い込む場合	TTM(＊7)＋50銭
配当金を指定通貨で受け取る場合	
一時払保険料を指定通貨以外の外貨（米ドルまたは豪ドル）で払い込む場合	指定通貨のTTM(＊7)＋25銭 ÷ 払込通貨のTTM(＊7)－25銭

(＊5) 2025年4月現在のものです。今後変更することがあります。
(＊6) <健康告知なしプラン>において初期死亡時円換算支払額最低保証特約により、基準金額と同額を受け取る場合を除きます。
(＊7) TTM（対顧客電信売買相場仲値）とは、TTS（対顧客電信売相場）とTTB（対顧客電信買相場）の仲値です。本商品で使用するTTMは、住友生命が指標として指定する金融機関が公示するTTSとTTBの仲値になります。
なお、住友生命が指標として指定する金融機関がその営業日においてTTS・TTBを公示しない場合は、住友生命所定の為替レートを変更することがあります。また、この場合、新規契約の取扱いができないことがあります。

● **外貨のお取扱いにかかる費用**
保険料を指定通貨または指定通貨以外の外貨（米ドルまたは豪ドル）で払い込む際や、死亡保険金・解約返戻金等を指定通貨で受け取る際には、送金手数料・引出手数料等の費用が別途必要となる場合があります。当該費用は取扱金融機関によって異なります。

4. 重要な情報のわかりやすいご提供（「原則5」「(注1)～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

業務運営方針

お客さまに対して販売・推奨等を行う金融商品・サービス等の基本的な利益、損失・その他のリスクや取引条件、お客さまにご負担いただく手数料、およびお客さまのニーズ・ご意向を踏まえたものであると当行が判断した理由等の重要な情報を、適切にわかりやすく説明いたします。

具体的な取組み

① 重要な情報が記載され、かつ各金融商品の特性を容易に比較・検討することができる資料（重要情報シートを含む）や、当行ホームページ、タブレット端末を用いたシミュレーションを使用する等、わかりやすく丁寧に説明いたします。

② 複数の金融商品・サービスを組み合わせた商品については、「商品概要説明書」等を活用することによりそれぞれの特性をわかりやすく説明するとともに、個別に購入できる場合にはその旨も併せて説明いたします。

③ お客さまの投資経験や金融知識等を踏まえるとともに、提供する情報を重要性に応じて区別したうえで、お客さまの投資判断に重要な影響をおよぼす情報（損失・その他のリスク、手数料等）については、特に強調するなど、明確かつ平易で誤解を招くことのないよう情報提供を行ってまいります。

④ お客さまに対して販売・推奨等を行う金融商品・サービス等の複雑さに見合った情報提供を行います。単純でリスクの低い金融商品は簡潔な情報提供に努める一方で、複雑またはリスクの高い金融商品は、リスクとリターンの関係といった基本的な構造の他、お客さまが同種の商品内容を比較することが容易となるよう、より丁寧な説明に努めてまいります。

重要な情報のわかりやすいご提供①

■重要情報シートの活用

【金融事業者編】

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る

重要情報シート（金融事業者編）

1 当行の基本情報（当行はお客さまに金融商品の販売または販売仲介をする者です）

社名	株式会社 青森みちのく銀行
登録番号	東北財務局長（登金）第１号
加入協会	日本証券業協会
当行の概要を記したウェブサイト	https://www.am-bk.co.jp/

2 取扱商品（当行がお客さまに提供できる金融商品の種類は次のとおりです）

円貨預金（投資性なし）	○	外貨預金（投資性あり）	○
国内株式	○（※1）	外国株式	○（※1）
円建債券	○（※2）	外貨建債券	○（※1）
特殊な債券（仕組債等）	×	投資信託	○
ラップ口座	×	ETF、ETN	○（※1）
REIT	○（※1）	その他の上場商品	×
保険（投資リスクなし）	○	保険（投資リスクあり）	○
これら以外の商品	NISA・iDeCo等、お客さまの資産形成に資する制度もご案内しております。		

（※1）金融商品仲介でのお取り扱い

（※2）国債、個人向け国債、地方債券、事業債を除く。

3 商品ラインナップの考え方（商品選定のコンセプトや留意点は次のとおりです）

- 当行では、お客さまのライフステージに応じて想定されるニーズにお応えするために幅広い商品ラインナップをご用意しております。
- 商品選定にあたっては、類似する商品について、商品のわかりやすさ、リスクや運用実績、お客さまにご負担いただく費用等を比較検討し、お客さまの最善の利益に資する商品・サービスを選定しております。
- ラインナップの見直しについては、中長期的なマーケット動向、商品の運用実績、購入されたお客さまへのサポート体制等を定期的に検証・評価することにより実施しております。

4 苦情・相談窓口

当行お客さま相談窓口（営業統括部 お客さま相談室）		017-777-1111（代表） 【受付時間】平日 9：00～17：00
加入協会共通の相談窓口	全国銀行協会相談室	0570-017109（03-5252-3772） 【受付時間】平日 9：00～17：00
	証券・金融商品あっせん相談センター（FINMAC）	0120-64-5005 【受付時間】平日 9：00～17：00
上記以外の相談窓口	生命保険協会 生命保険相談所	03-3286-2648 【受付時間】平日 9：00～17：00
金融庁金融サービス利用者相談室		0570-016811（03-5251-6811） 【受付時間】平日 10：00～17：00

Procrea 青森みちのく銀行

【個別商品編（投資信託）】

Procrea 青森みちのく銀行

重要情報シート（個別商品編）　使用開始日：2025年06月07日

次世代米国代表株ファンド（愛称：メジャー・リーダー）

1 商品等の内容（当行は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	次世代米国代表株ファンド（愛称：メジャー・リーダー）
組成会社（運用会社）	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
販売委託元	三菱ＵＦＪアセットマネジメント株式会社
金融商品の目的・機能	米国の株式を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざします。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	本商品は、中長期の資産形成を目的とし、元本割れのリスクを許容する方のうち、基準価額水準に応じて支払われる分配金を、年4回、受け取りたい方を想定しています。分配金は、投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
パッケージ化の有無	パッケージ化商品ではございません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- あなたの銀行が提供する運用商品のうち、この商品が私の知識、経験、財産状況、ライフプラン、投資目的に照らしてふさわしいという根拠は何ですか？
- この商品を購入した場合、どのようなアフターサービスを受けることができますか？
- この運用商品が複数の商品を組み合わせたものである場合、個々の商品購入と比べて、どのようなメリット・デメリットがありますか？

2 リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じるリスクの内容	○株価変動リスク：投資対象の株式は、景気動向や国際情勢の好転・悪化により、市場価格が変動します。 ○信用リスク：投資先企業の経営不振や破綻等から、投資資金が回収できなくなるリスクがあります。 ○為替変動リスク：外貨建て資産に投資しますので、為替レートの影響を受けて、資産価格が変動します。 ○流動性リスク：市場の流動性が低く、想定より不利な価格での取引や取引自体が行えなくなることによる影響を受けます。
〔参考〕過去１年間の収益率	-1.5%（2025年3月末現在）
〔参考〕過去５年間の収益率	平均20.4%　最低-9.9%（2020年4月）　最高58.7%（2021年3月） （2020年4月～2025年3月の各月末における直近1年間の数字）

※損失リスクの内容の詳細は【交付目論見書】の「投資リスク」、運用実績の詳細は「投資リスク」や「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- 上記のリスクについて、私が理解できるように説明してほしい。
- 相対的にリスクが低い類似商品があれば、その商品についても説明してほしい。

3 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

購入時に支払う費用（販売手数料など）	購入約定金額に手数料率を乗じて得た金額とします。なお、お申込手数料には消費税相当額がかかります。 ＜窓口販売の場合＞ 一律：2.2%（税抜2.0%） ＜インターネット販売の場合＞ 一律：2.31%（税抜2.1%） ＜積立投信の場合＞ 一律：2.64%（税抜2.4%）
継続的に支払う費用（信託報酬など）	運用管理費用（信託報酬率）：年率1.595%（税抜 年率1.45%） その他費用・手数料が実費でファンドから支払われます。これらは事前に料率を表示することはできません。
運用成果に応じた費用（成功報酬など）	ありません。

※上記以外に生ずる費用を含めて、詳細は【補完書面】の「購入時手数料等」、【交付目論見書】の「手続・手数料等」「ファンドの費用」に記載しています。

以下のような質問があれば、お問い合わせください。
- この投資信託に100万円を投資したら、実際にどのくらい費用がかかるのか説明してほしい。
- 費用がより安い類似商品があれば、その商品について説明してほしい。

－1－

【個別商品編（保険）】

2025年4月版
重要情報シート

販売会社：株式会社 青森みちのく銀行

この資料は、この商品の全ての事項を記載したものではありません。ご検討、お申込みに際しては、「商品概要」「契約締結前交付書面（契約概要／注意喚起情報）兼 商品パンフレット」「設計書」「ご契約のしおり・約款」などを必ずお読みください。

この商品は第一フロンティア生命を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、また、元本割れすることがあります。

1．商品等の内容（当社は、組成会社等の委託を受け、お客さまに商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	プレミアレシーブ２ 定期支払金付積立利率変動型終身保険（23）（通貨指定型）
組成会社（引受保険会社） 販売委託元	第一フロンティア生命保険株式会社
金融商品の目的・機能	【目的】 自分で毎年受け取りながら、大切なご家族に減らさずのこせる終身保険です。 【機能】 ・指定通貨を、米ドル、豪ドルまたは円より選択いただけます。 ・定期支払日に被保険者が生存している場合、定期支払金をお支払いします。定期支払金は指定通貨または円で受け取ることができます。 ・定期支払金額の計算方法が異なる２つのプランから選択いただけます。 （基本プラン）毎年、指定通貨建で一定額の定期支払金を受け取れるプランです。 （指数プラン）毎年の定期支払金に、参照指数の上昇による上乗せが期待できるプランです。 ・被保険者が死亡された場合、死亡保険金をお支払いします。死亡保険金額は、指定通貨建で一時払保険料以上となります。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	・この商品は、「豊かな生活と円滑な相続の実現のため、定期的にもらえる給付と家族へつなぐ資産の確保を両立したい」ご意向があるお客さまを念頭に組成しています。（主に60代～70代のお客さまを想定）。 ・第一フロンティア生命が設定した所定の利率に基づきリスクを抑えた運用を行いますが、為替変動リスク（外貨建の場合）、金利変動リスクがあるため、それらに伴う元本割れおよび指数の推移による定期支払金額の上乗せがないケースを許容できる方を想定しています。 （終身の保有を想定して組成している商品のため、契約日から解約日までの期間が短い場合、運用による成果が十分に得られないことや、元本割れする可能性が高まることなどがあるため十分ご留意ください。また、解約により保障も失われます。） ・あわせて、今後自身で使う予定のない自己資金があり、保険に加入しても、生活資金や医療費等への備えとして十分な収入や財産がある方を想定しています。

4. 重要な情報のわかりやすいご提供

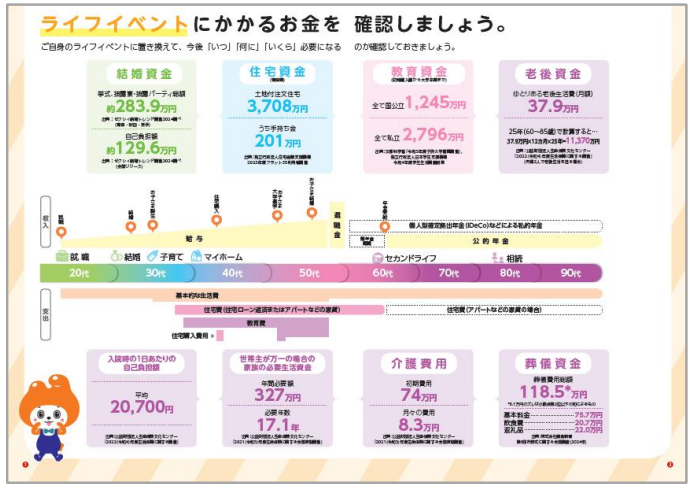
（「原則5」「(注1)～ (注5)」、「原則6」「(注1)」）

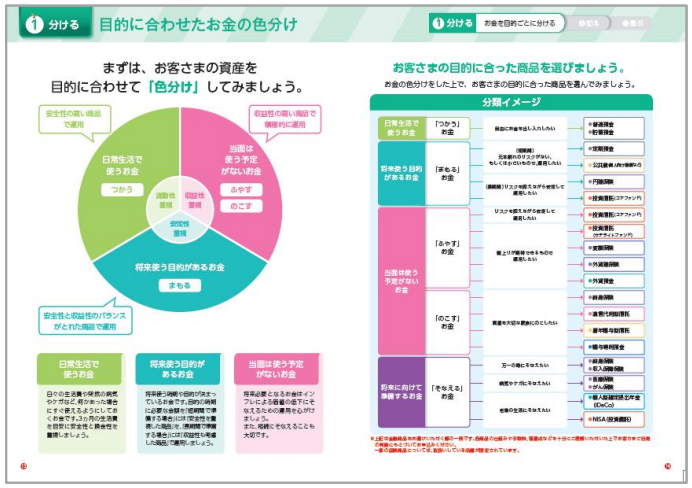
Procrea 青森みちのく銀行

重要な情報のわかりやすいご提供②

■投資信託関連ツール「Wealth Advisor]

■資産運用啓蒙冊子「スタートブック」





5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注7)」）

Procrea 青森みちのく銀行

業務運営方針

（１）お客さまの資産状況、投資経験、知識、投資目的、リスク許容度等を適切に把握し、お客さまのご意向を踏まえたうえで、一人ひとりにふさわしい金融商品・サービスの提供に努めてまいります。

（２）お客さまへの提案にあたっては、当行が取り扱う各金融商品・サービスについて横断的にその内容や特性、リスク等を十分比較する等、わかりやすく丁寧に説明いたします。

（３）ご契約後もお客さまが安心してご契約を継続できるよう、取引環境の整備・充実を図ってまいります。

具体的な取組み

① お客さまがご自身の投資目的やリスク許容度等に応じて適切な商品をお選びいただけるよう、幅広い商品ラインナップの整備と見直しを随時実施いたします。なお、商品選定時には、商品選定・販売部門とは別の各管理部門による審査プロセスを経て選定いたします。

② 特に、複雑またはリスクの高い金融商品、複数の金融商品・サービスを組み合わせた商品については、商品特性およびお客さまの資産状況、投資経験、知識、投資目的、リスク許容度等を踏まえたうえで、お客さまにとってふさわしい商品であるか等について慎重に判断し、提案を控えさせていただく場合がございます。

③ ご高齢のお客さまに対しては、複雑またはリスクの高い金融商品の販売・推奨、および即日での申込み引受は原則行わず、また申込み手続の際にはご家族にご同席いただきご理解を求める等、特に慎重かつ適切に対応してまいります。

④ 販売開始前の事前研修を適切かつ確実に実施し、新商品・サービスの内容を取扱担当者が確実に理解したうえで、お客さまへの販売・推奨を行うための社内態勢を整備してまいります。

⑤ 金融商品およびマーケット等に関する情報等、お客さまが資産形成に資する情報に接する機会を確保するため、「ご契約後のフォロー活動」や「資産運用に関するセミナー」等を開催いたします。また、投資を初めて行うお客さまなどに対しては、金融商品・サービスに関する基本的な仕組みや特性等の情報提供を積極的に行ってまいります。

⑥ 商品提供を受ける投信会社等と適切な情報連携を行ってまいります。また、情報連携を通じ、必要に応じて商品提供の改善や見直しを行ってまいります。

※なお、当行および当行グループでは公表日時点におきまして、「金融商品の組成に携わる会社・部門等」を有しておりません。

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さま一人ひとりにふさわしい金融商品・サービスの提供に向け、取扱商品ラインナップの見直しを定期的に実施しております。

【投資信託】

■ラインナップ見直し

2025年7月

カテゴリ	商品名	備考
限定追加型	あおぞら・新グローバル分散ファンド （限定追加型）2025-07　（愛称：ぜんぞう2507）	店頭のみ取扱

2026年1月

カテゴリ	商品名	備考
限定追加型	あおぞら・新グローバル分散ファンド （限定追加型）2026-01　（愛称：ぜんぞう2601）	店頭のみ取扱
追加型	One割安日本株ファンド（年1回決算型）	
追加型	2050年満期米国国債ファンド（年4回分配型） （愛称：2050米国債）	
追加型	ゴールド・ファンド（為替ヘッジなし）	

■投資信託商品ラインナップ※

カテゴリ		取扱商品数	比率
国内債券		4	3%
国内株式		16	12%
海外債券		33	25%
	先進国	19	14%
	新興国	9	7%
	先進国・新興国	5	4%
海外株式		38	29%
	先進国	10	8%
	新興国	9	7%
	先進国・新興国	19	14%
国内リート		3	2%
海外リート		6	5%
バランス型		29	22%
その他		3	2%
合計		132	100%

※インターネット専用商品を含む商品数。同一商品で通貨、分配頻度、為替ヘッジの有無が異なる場合は、1商品として記載。

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さま一人ひとりにふさわしい金融商品・サービスの提供に向け、取扱商品ラインナップの見直しを定期的に実施しております。

【保険】

■新商品の導入状況

カテゴリ	商品名	備考
円建 年金	プレミアパートナー（円建）	一時払型
外貨建 年金	プレミアパートナー（外貨建）	一時払型
円建 終身	夢ふくらむ終身（円建）	一時払型
外貨建 終身	夢ふくらむ終身（外貨建）	一時払型
外貨建 年金	たのしみ未来グローバル たのしみ未来グローバル学資積立プラン	平準払型

■保険商品ラインナップ

カテゴリ			取扱商品数	比率
一時払	円建		11	48%
		定額年金	2	9%
		変額年金	0	0%
		定額養老	0	0%
		終身	9	39%
	外貨建		12	52%
		定額年金	2	9%
		変額年金	0	0%
		定額養老	0	0%
		終身	10	43%
	合　計		23	100%
平準払	年金		5	29%
	終身		1	6%
	医療・がん		6	35%
	定期・終身保障		5	29%
	合　計		17	100%

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

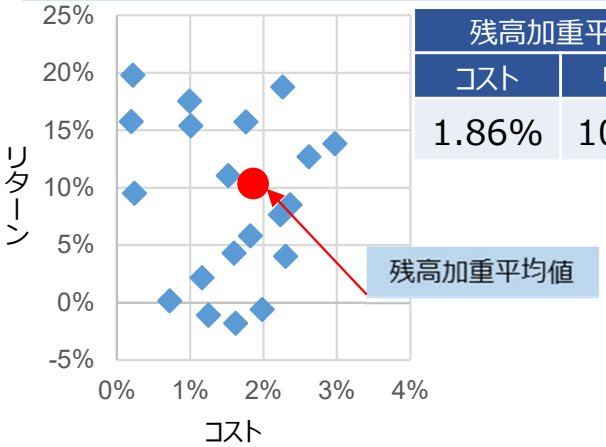
Procrea 青森みちのく銀行

お客さまにふさわしいサービスのご提供①

■投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン【共通KPI】

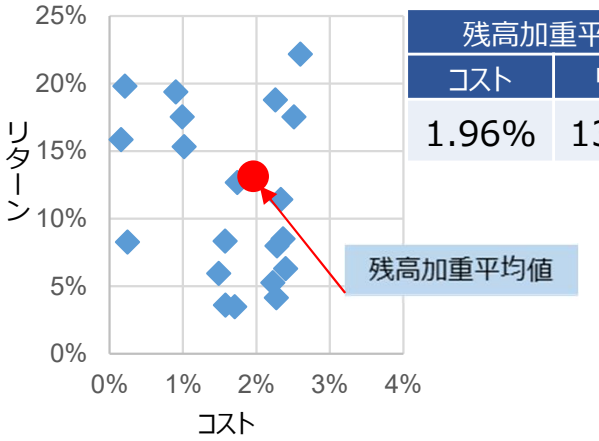
2024年3月末

青森銀行



残高加重平均値	
コスト	リターン
1.86%	10.35%

みちのく銀行



残高加重平均値	
コスト	リターン
1.96%	13.12%

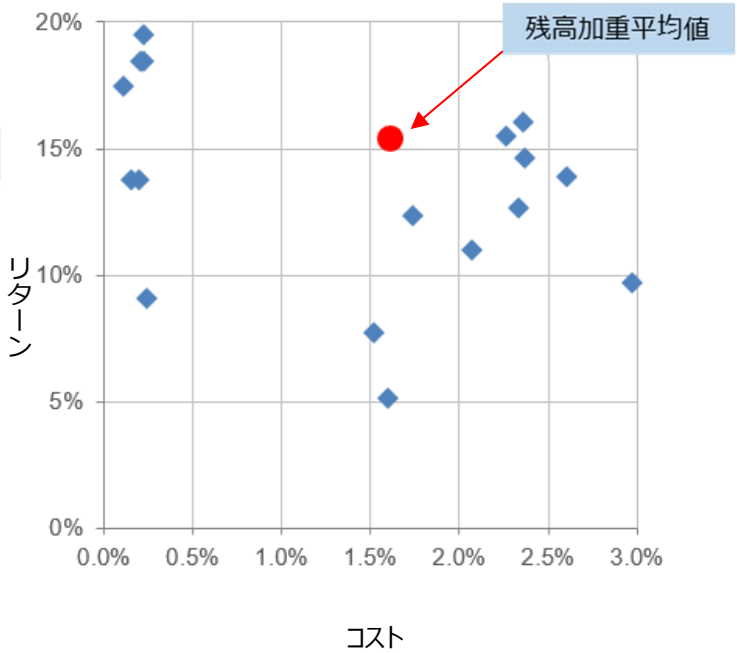
2025年3月末

青森みちのく銀行

残高加重平均値	
コスト	リターン
1.80%	17.86%

2026年3月末

青森みちのく銀行



残高加重平均値	
コスト	リターン
1.61%	15.43%

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

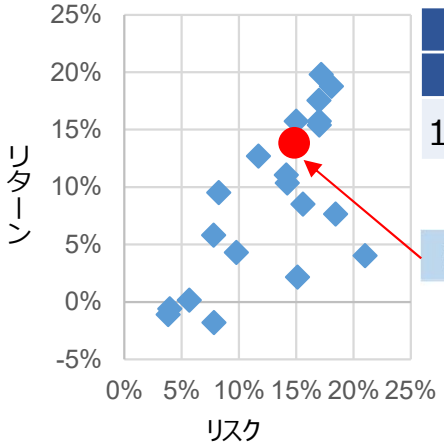
Procrea 青森みちのく銀行

お客さまにふさわしいサービスのご提供②

■投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン【共通KPI】

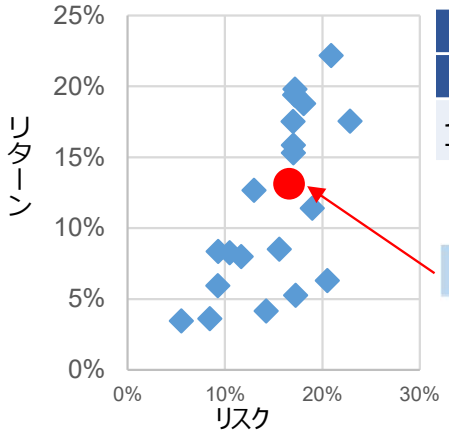
2024年3月末

青森銀行



残高加重平均値	
リスク	リターン
14.22%	10.35%

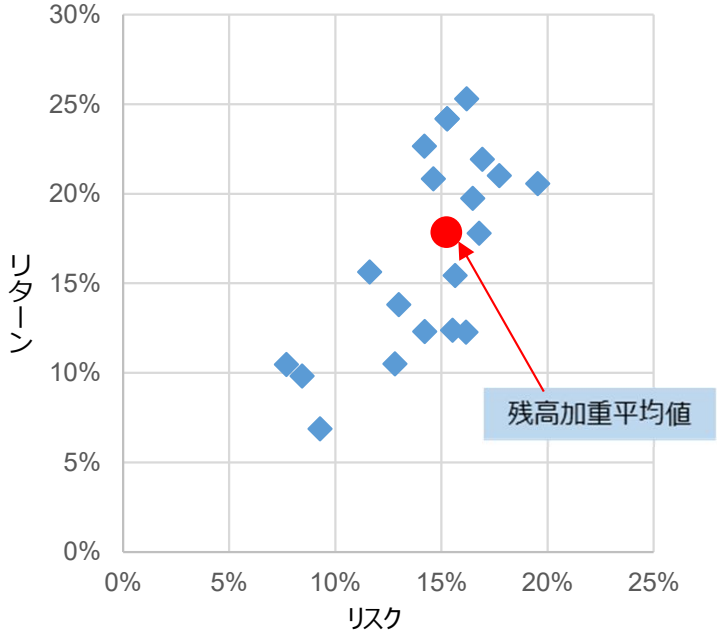
みちのく銀行



残高加重平均値	
リスク	リターン
16.57%	13.12%

2025年3月末

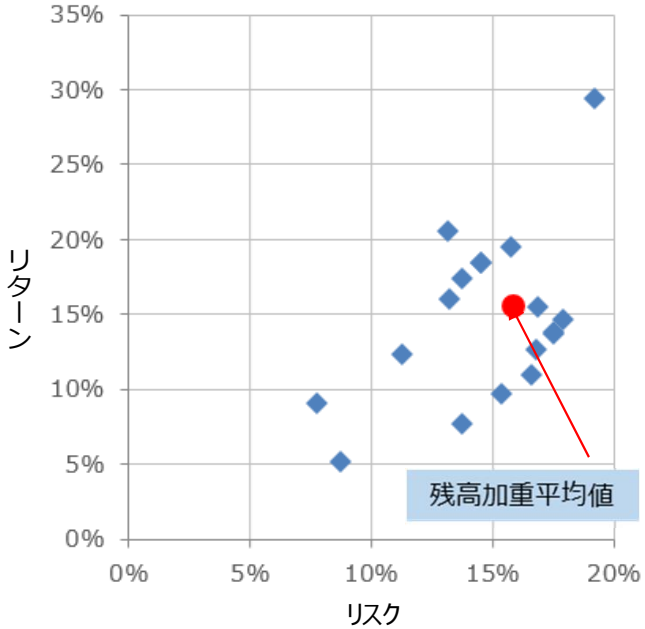
青森みちのく銀行



残高加重平均値	
リスク	リターン
15.24%	17.86%

2026年3月末

青森みちのく銀行



残高加重平均値	
リスク	リターン
15.91%	15.43%

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さまにふさわしいサービスのご提供③

■投資信託預り残高上位20銘柄

順位	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	次世代米国代表株ﾌｧﾝﾄﾞ	2.26%	16.85%	15.49%
2	ﾋﾟｸﾃ･ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ｲﾝｶﾑ株式ﾌｧﾝﾄﾞ(毎月分配型)	2.36%	13.19%	16.04%
3	つみたて米国株式(S&P500)	0.22%	15.72%	19.53%
4	グローバル・ロボティクス株式ファンド(年２回決算型)	2.60%	20.62%	13.91%
5	野村未来ﾄﾚﾝﾄﾞ発見ﾌｧﾝﾄﾞ Dｺｰｽ（為替ﾍｯｼﾞなし）予想分配金提示型	2.37%	17.86%	14.62%
6	たわらノーロード　全世界株式	0.11%	13.71%	17.44%
7	ﾀﾞｲﾜ･US-REIT･ｵｰﾌﾟﾝ(毎月決算型)Bｺｰｽ(為替ﾍｯｼﾞなし)	2.33%	16.77%	12.69%
8	三菱ＵＦＪ　純金ﾌｧﾝﾄﾞ	1.21%	19.22%	29.47%
9	iFree日経２２５ｲﾝﾃﾞｯｸｽ	0.15%	17.50%	13.79%
10	ひふみプラス	1.52%	13.74%	7.72%
11	ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ･ﾍﾙｽｹｱ&ﾊﾞｲｵ･ﾌｧﾝﾄﾞ	2.97%	15.34%	9.70%
12	つみたて先進国株式	0.22%	14.49%	18.48%
13	情報エレクトロニクスファンド	2.09%	23.19%	23.05%
14	つみたて４資産均等バランス	0.24%	7.73%	9.08%
15	ひふみワールド＋	2.07%	16.60%	10.97%
16	三菱UFJ豪ﾄﾞﾙ債券ｲﾝｶﾑｵｰﾌﾟﾝ	1.60%	8.72%	5.13%
17	ダイワ好配当日本株投信（季節点描）	1.82%	13.13%	20.54%
18	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	11.27%	12.36%
19	つみたて日本株式（日経平均）	0.20%	17.49%	13.76%
20	iFree外国株式ｲﾝﾃﾞｯｸｽ(ﾍｯｼﾞなし)	0.21%	14.50%	18.48%

※2026年3月末時点で設定後5年以上の投資信託が対象

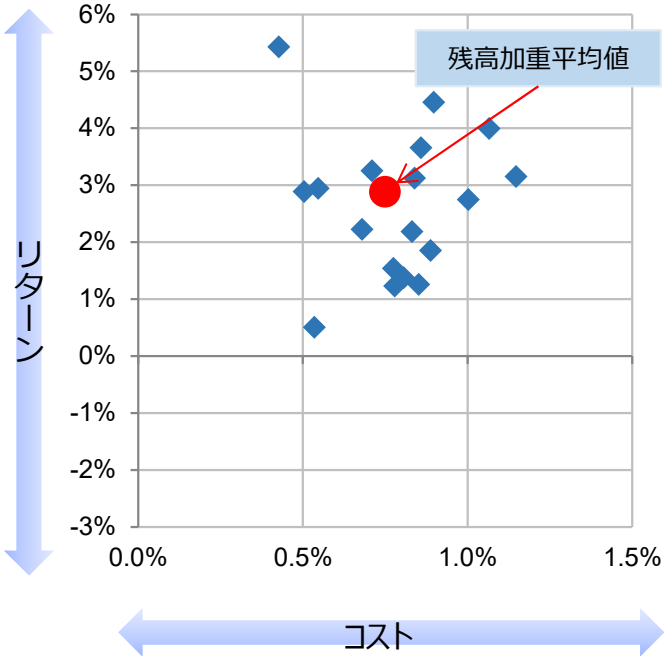
5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さまにふさわしいサービスのご提供④

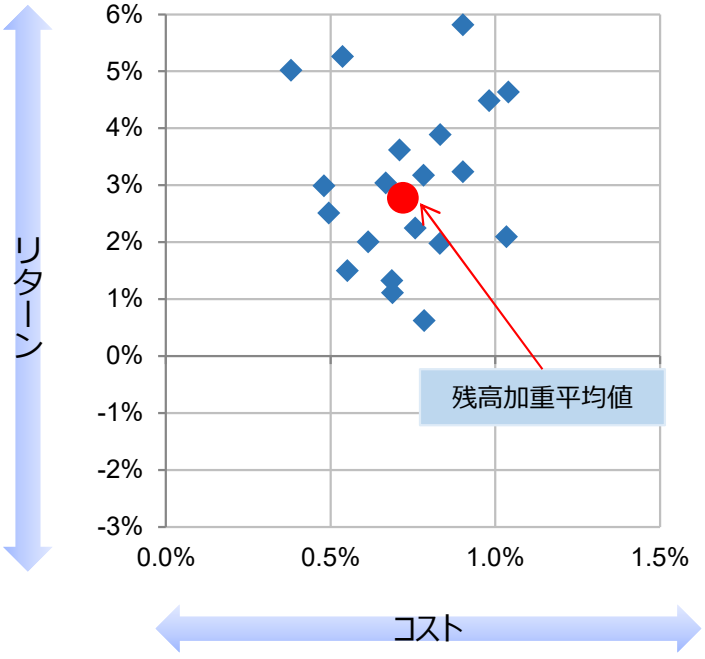
■外貨建保険残高※上位20銘柄のコスト・リターン 【共通KPI】 ※外貨建保険のうち、基準日に保険契約から60ヶ月以上経過した契約

2024年3月末



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.75%	2.89%

2025年3月末



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.72%	2.78%

2026年3月末

残高加重平均値	コスト	リターン
	0.69%	3.18%

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

お客さまにふさわしいサービスのご提供⑤

■外貨建保険残高※上位20銘柄のコスト・リターン 【共通KPI】 ※外貨建保険のうち、基準日に保険契約から60ヶ月以上経過した契約

2024年3月末

	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ（外貨建）	0.71%	3.25%
2	ライフロング・セレクトＰＧ３	0.68%	2.22%
3	しあわせ、ずっと	0.77%	1.54%
4	プレミアプレゼント	0.86%	3.66%
5	やさしさ、つなぐ	0.53%	0.51%
6	生プレワールド４	0.85%	1.26%
7	ロングドリームＧＯＬＤ２	1.07%	6.56%
8	ロングドリームＧＯＬＤ	0.78%	1.23%
9	夢のプレゼント	0.62%	6.47%
10	プレミアカレンシー・プラス２	0.83%	2.19%
11	プレミアジャンプ	0.81%	1.38%
12	ライフロング・セレクトＰＧ２	0.55%	2.94%
13	プレミアストーリー２	0.84%	3.12%
14	ファイブ・ステップＵＳ	0.43%	5.43%
15	三大陸	0.50%	2.89%
16	未来につなげる終身保険	1.15%	3.15%
17	プレミアジャンプ・年金（外貨建）	0.89%	1.85%
18	外貨建・エブリバディプラス（バランスタイプ）	1.07%	3.99%
19	ふるはーとＪロードグローバル	0.90%	4.46%
20	プレミアベスト	1.00%	2.75%
	加重平均	0.75%	2.89%

2025年3月末

	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ（外貨建）	0.67%	3.04%
2	プレミアプレゼント	0.83%	1.98%
3	ライフロング・セレクトＰＧ３	0.61%	2.00%
4	やさしさ、つなぐ	0.55%	1.50%
5	生涯プレミアムワールド５	0.90%	3.23%
6	しあわせ、ずっと	0.69%	1.33%
7	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.98%	4.48%
8	生涯プレミアムワールド４	0.78%	0.62%
9	プレミアストーリー２	0.78%	3.17%
10	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.90%	5.82%
11	夢のプレゼント	0.54%	5.26%
12	プレミアカレンシー・プラス２	0.76%	2.25%
13	ロングドリームＧＯＬＤ	0.69%	1.11%
14	ライフロング・セレクトＰＧ２	0.49%	2.51%
15	ファイブ・ステップＵＳ	0.38%	5.02%
16	しあわせ、ずっと２	1.04%	4.63%
17	外貨建エブリバディプラス（バランスタイプ）	0.71%	3.62%
18	未来につなげる終身保険	1.03%	2.10%
19	三大陸	0.48%	2.99%
20	ふるはーとＪロードグローバル	0.83%	3.89%
	加重平均	0.72%	2.78%

2026年3月末

	銘柄名	コスト	リターン
1	プレミアレシーブ（外貨建）	0.60%	4.19%
2	生涯プレミアムワールド５	0.89%	1.05%
3	やさしさ、つなぐ	0.52%	2.51%
4	プレミアプレゼント	0.75%	2.92%
5	ライフロング・セレクトＰＧ３	0.55%	3.22%
6	プレミアストーリー２	0.77%	3.94%
7	ロングドリームＧＯＬＤ３	0.87%	5.38%
8	プレミアプレゼント２	1.00%	-0.54%
9	しあわせ、ずっと	0.62%	1.64%
10	生涯プレミアムワールド４	0.73%	1.65%
11	ロングドリームＧＯＬＤ２	0.78%	6.77%
12	夢のプレゼント	0.47%	5.79%
13	えらべる外貨建一時払終身（受け取るタイプ）	0.65%	5.26%
14	プレミアカレンシー・プラス２	0.67%	2.32%
15	ライフロング・セレクトＰＧ２	0.45%	3.41%
16	プレミアストーリー３	0.73%	5.50%
17	ロングドリームＧＯＬＤ	0.62%	0.98%
18	しあわせ、ずっと２	0.93%	4.86%
19	ファイブ・ステップＵＳ	0.34%	5.25%
20	外貨建エブリバディプラス（バランスタイプ）	0.63%	4.14%
	加重平均	0.69%	3.18%

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

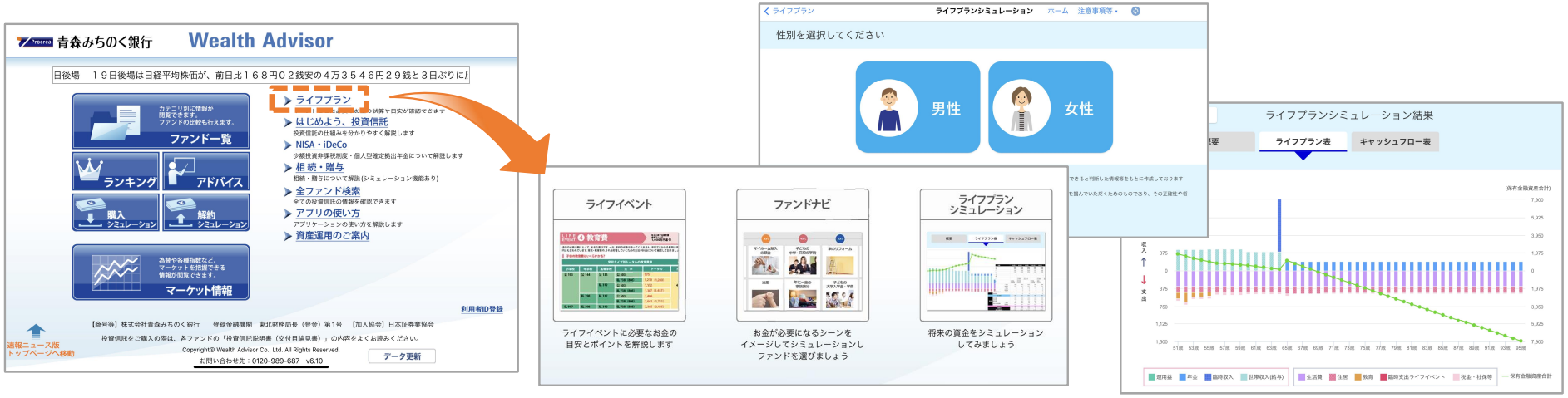
お客さまにふさわしいサービスのご提供⑤

■「スタートブック」「HP」による世代ごとの資産運用啓蒙

【スタートブック】

【ＨＰ】

■「Wealth Advisor」によるライフプランシミュレーション



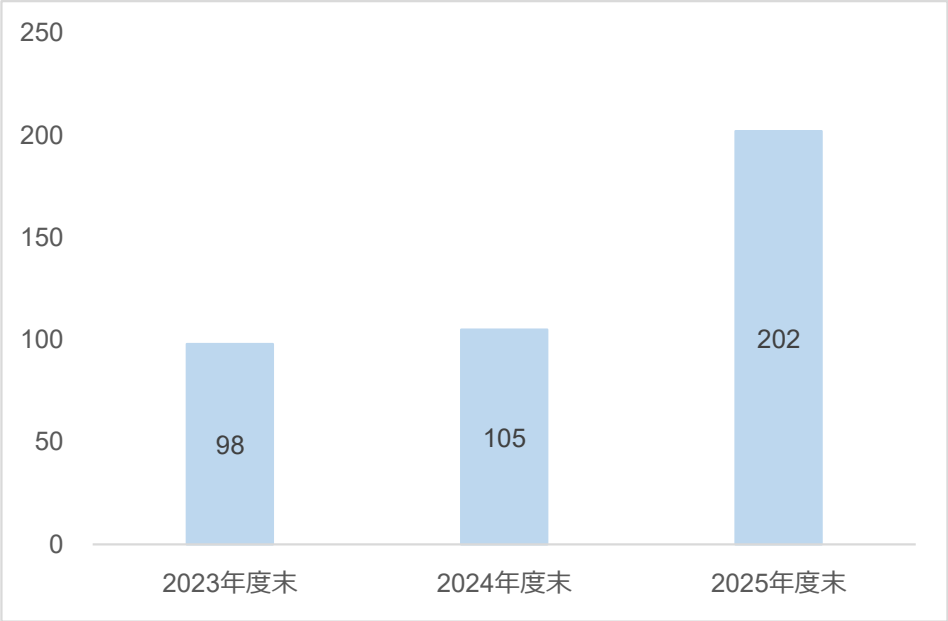
5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

お客さま向けセミナー

金融商品情報やマーケット情報など、お客さまが資産形成に資する情報に接する機会を確保するため、お客さま向けセミナーや職域セミナーを継続的に開催しております。

■2025年度お客さま向けセミナー・職域セミナー開催状況

2025年度は開催202回
延べ2,515名のお客様にご参加いただきました。



■金融教育の提供

職場見学の受け入れや出前授業を通じて、金融・銀行の役割や仕組み、資産形成の重要性などを説明しているほか、金融教育イベント等を開催し、楽しく金融や投資について学べる場を提供しております。

「ひふみ金融経済教育ラボ 投資家体験ワークショップ～投資家を体験してみよう～」

5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注1)、（注3）～ (注5)」）

Procrea 青森みちのく銀行

ご契約後のアフターフォロー

当行では、投資信託や保険商品をご契約いただいているお客さまに対し、担当者による面談・連絡を通じて運用状況等の適時適切な情報提供、アフターフォローを実施しております。

■投資信託

対象のお客さま	フォローのタイミング
株式投資信託を保有している満80歳以上のお客さま	年２回
70歳以上かつ評価額１百万円以上のお客さま	
評価額３百万円以上かつ評価損益率▲10％以上のお客さま	
初めて投資信託を購入されたお客さま	購入後1週間・「取引報告書」送付時
保有している投資信託の評価額が急激に変動したお客さま	急激な市場環境の変化時（随時）

■生命保険

対象のお客さま	フォローのタイミング
外貨建一時払保険または一時払変額保険を契約いただいたお客さま	年1回（購入年度除く）
保険満期時に当行外貨預金口座に預入れしたお客さま	年１回

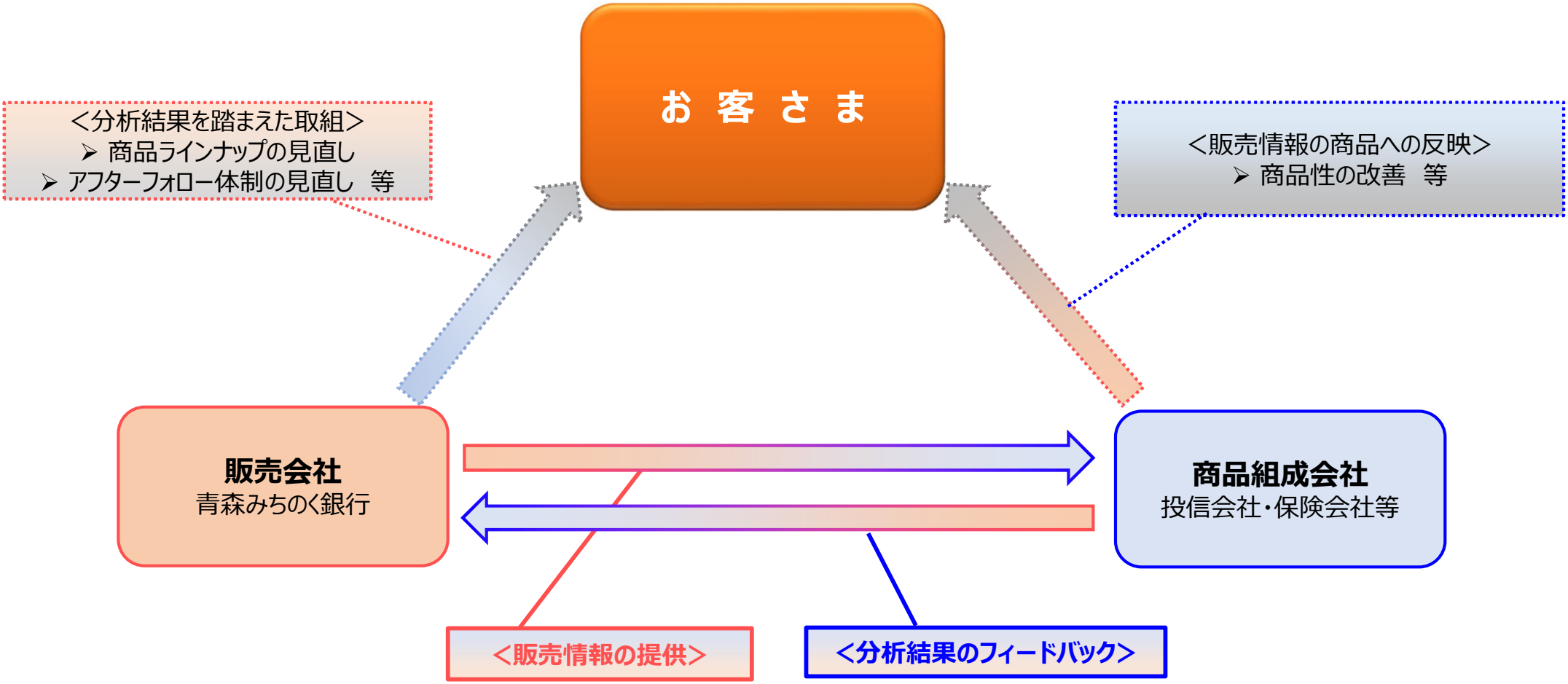
5. お客さまにふさわしいサービスのご提供（「原則6」「(注６)、（注７）」）

Procrea 青森みちのく銀行

■ 製販一体の取組

当行では、投信会社や保険会社などの金融商品の組成に携わる会社（※）と、商品の想定するお客さまの属性や実際に購入いただいたお客さまのデータなどを相互に情報連携を行います。
組成会社から提供を受ける当行の販売結果に係る分析データを活用し、お客さまに最適な商品・サービスの提供に取り組みます。
商品組成会社との情報連携を強化し、商品組成会社のプロダクトガバナンス体制の高度化および商品の改善等を通じて、お客さまの最善の利益の実現に努めます。
投資信託以外の商品（保険商品等）についても、商品組成会社と相互に情報連携を行い、お客さまに最適な商品・サービスの提供に努めます。

※なお、当行および当行グループでは公表日時点におきまして、「金融商品の組成に携わる会社・部門等」を有しておりません。



6. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等（「原則7」「(注)」）

Procrea 青森みちのく銀行

業務運営方針

「お客さま本位の業務運営」を浸透させ確実に実践するため、従業員への適切な動機づけに繋がるよう考慮された業績評価体系の整備、および取扱担当者に対する教育・研修の充実を図るとともに、実効性を高めるための適切なガバナンス体制の構築に努めてまいります。

具体的な取組み

① 金融商品・サービスの取扱担当者に対しては、公的資格（FP技能士等）の取得支援や、行内資格者の育成、行内研修等を通じてお客さまの資産形成支援に必要な知識・スキルの向上を図るとともに、臨店指導や本部モニタリング等を通じて理解状況の把握に努めてまいります。

② お客さまからいただいたご意見・ご要望等につきましては、その発生原因等とともに、外部評価等によりお客さまのニーズを的確に把握し、適切かつ迅速に業務運営に反映させるよう適宜検証いたします。

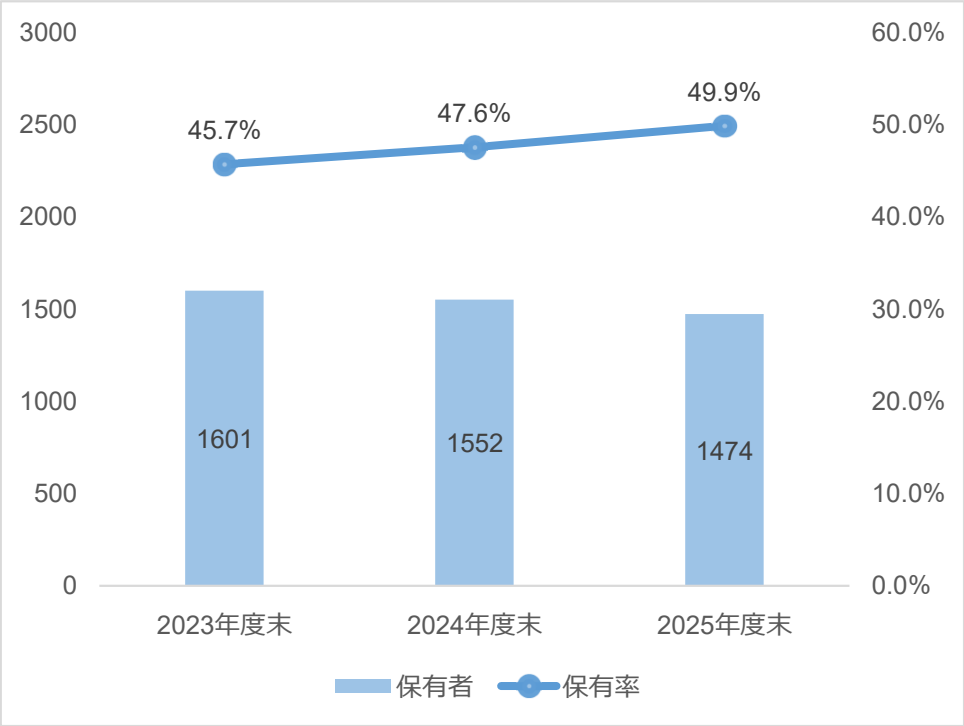
③ 本方針に基づく具体的な取組状況につきましては、年度ごとに実績をとりまとめ、行内全体で情報を共有するとともに各会議体にて改善策の検討を行う等、ガバナンス体制の整備を適切に行ってまいります。

6. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等（「原則7」「(注)」）

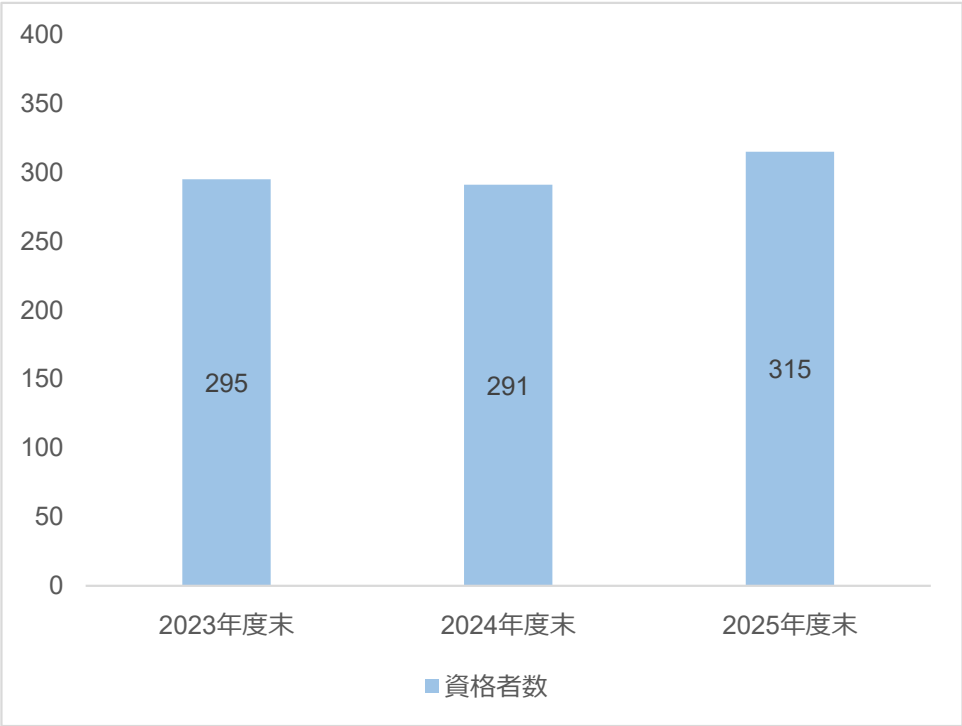
各種資格の取得状況

資産形成支援に必要な知識・スキルの継続的な取り組みとして、公的資格の取得支援や行内資格者「マネーカウンセラー」の育成に努めております。

■FP資格（2級以上）保有者の推移



■行内資格者「マネーカウンセラー」の推移



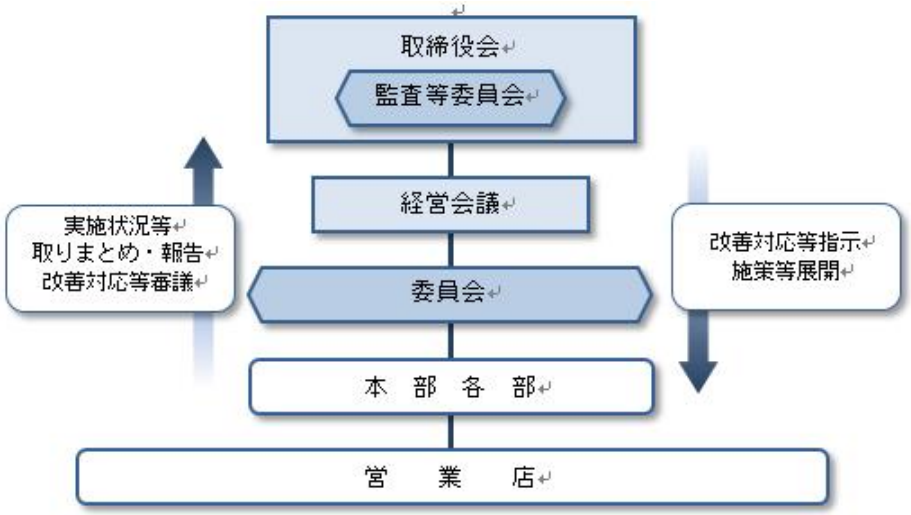
6. 役職員に対する適切な動機づけの枠組み等（「原則7」「(注)」）

説明・募集態勢の適切な管理

お客さまから頂いたご要望・苦情等につきましては、その発生原因等を踏まえ、お客さまのニーズを的確に把握するとともに、適切かつ迅速に業務運営に反映させるよう、行内に設置した「委員会」等におきまして、適宜検証を行っております。

■お客さまからのご要望・苦情等発生件数

区　分	2024年度	2025年度
全　体	415	391
うち金融商品関連	21	19

方針に基づく具体的な取組状況につきましては、年度毎に実績を取りまとめ、行内に設置した「委員会」や「経営会議」「取締役会」等におきまして情報を共有するとともに、改善策等の検討を行っております。

■「お客さまの資産形成支援に向けた業務運営方針」実践に向けたガバナンス体制